

第70回 日本臨床眼科学会ランチョンセミナー

開催日 2016年11月4日(金) 12:25~13:25
学会開催期間 2016年11月3日(木)~6日(日)

開催場所 第6会場
(国立京都国際会館 2F RoomB-2 シアター 180席)

今変わる! 視神経炎の 診断と治療



座長

兵庫医科大学 寄附講座
神経眼科治療学講座 特任教授

三村 治 先生

【略歴】

1975年大阪医大卒, 1983年兵庫医大眼科講師,
1989年同助教授, 1995年独Saarland大学客員教授,
1998年兵庫医大眼科主任教授, 2013年兵庫医大副学長,
2016年兵庫医大神経眼科治療学特任教授

視神経炎は患者のQOLを大きく損なう可能性のある疾患です。以前は、ステロイド投与によって回復を早めるが予後には影響しないと考えられた時代もありました。しかしながら、診断技術の進歩により早期から手厚い治療をしなければ両眼失明や全身に症状を発症する患者が潜在していることがわかってきました。本セミナーでは視神経炎の新しい診断法を木村亜紀子先生に、新しい治療方針を毛塚剛司先生に解説していただきます。本セミナーをお聴きいただければ、明日からの視神経炎の診断・治療法が変わるはずですよ。

1. 温故知新の視神経炎の診断法



演者 兵庫医科大学 眼科学講座 准教授

木村 亜紀子 先生

2. 視神経炎治療法アップデート



演者 東京医科大学 臨床医学系 眼科学分野 准教授

毛塚 剛司 先生